教団新報

定　価　1部180円（本体164円〒共243円）
予約購読料　1年分　〒共　5,350円
紙代のみ　3,750円
振替 00140－9－145275
本紙を購読ご希望の方は、前金をそえて、お近くのキリスト教書店へお申し込み下さい。
教会の購読料は負担金に含みます。

発行所　日本基督教団
169-0051　東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館内　電話03（3202）0546
FAX03（3207）3918
URL http://uccj.org
発行人　秋山　徹
編集主筆　嶋田恵悟
印刷所　株式会社きかんし

2022年度 ❶　東北・関東・中部・京都・九州・東海

教区総会報告

3年ぶりに対面で開催

東北教区

教会合併議案を承認

第77回東北教区総会は5月4～5日、山形学院高校において、3年ぶりに対面方式で新型コロナウイルスの感染防止対策を取りながら行った。

総会正議員総数139名のうち、102名で総会成立を確認して議事に入り、その中で1名の准允式が執行された。

また、「郡山教会」と「郡山細沼教会」の合併の議案を審議。結果、可決され、新たに「郡山教会」として歩み出していくこととなった。

2021年度の活動報告・決算報告、2022年度の活動計画案・予算案、東日本大震災議案等の議案が審議され、各議案が承認、可決された。

さらに教区四役と常置委員、第42回教団総会議員選挙の各選挙が行われ、髙橋真人議長（会津坂下）、布田秀治副議長（いずみ愛泉）、瀬谷寛書記（仙台東一番丁）、荒井偉作宣教部委員長（名取）がそれぞれ選出された。

常置委員選挙結果

【教職】片岡謁也（若松栄町）、関川祐一郎（石巻山城町）、長尾厚志（仙台ホサナ）

【信徒】石原裕子（常磐）、鎌田仁美（涌谷）、斎藤仁一（山都）

教団総会議員選挙結果

【教職】荒井偉作（名取）、片岡謁也（若松栄町）、小峰擁（郡山）、関川祐一郎（石巻山城町）、瀬谷寛（仙台東一番丁）、髙橋真人（会津坂下）、原裕（天童）、布田秀治（いずみ愛泉）

【信徒】阿部彰子（仙台青葉荘）、石原裕子（常磐）、鎌田仁美（涌谷）、鬼澤洋美（岩沼）、斎藤仁一（山都）、髙橋嘉男（名取）、間庭洋（仙台北）、森睦（天童）

（瀬谷　寛報）

左から、布田副議長、荒井宣教部委員長、瀬谷書記、髙橋議長

関東教区

阿部洋治教師按手を認め「しかるべき式」を執行

第72回関東教区総会が5月24～25日、さいたま市民会館レイボックホールを会場に153名の出席を得て開催された。3年ぶりの対面開催のため、抗原検査キットを出席者全員へ配布（二日分）、手の消毒、マスクの着用を徹底。会場も1400名収容のホールを使用した。

議案協議は、書面総会のため協議が出来なかった「阿部洋治教師の正教師登録に関する件」に一日目午後、二日目午後と多くの時間を費やした。協議は、阿部洋治教師を正教師として登録することに対する否定的な意見よりも、どのような形で登録をするのかという点に集約された。特に、「按手」についての理解について議論が白熱した。無記名投票により、賛成98、反対11、白票12で原案は可決。阿部教師が過去に受けた按手を認め、再按手はせずに正教師登録のための「しかるべき式」を執行することが承認された。「式」については常置委員会に付託された。

教区総会議長には熊江秀一（大宮）、副議長には田中かおる（安行）の両名が新しく選出された。書記の小池正造（東新潟）と宣教部委員長の飯塚拓也（竜ケ崎）は引き続き選出された。

常置委員選挙結果

【教職】栗原清（武蔵豊岡）、町田さとみ（初雁）、大坪直史（熊谷）、佐野明子（塩谷一粒）、嶋田恵悟（土浦）

【信徒】半田香代子（原市）、金剌英雄（上尾合同）、豊川昭夫（越谷）、國吉常喜與（宇都宮上町）、佐久間文雄（志木）

教団総会議員選挙結果

【教職】熊江秀一（大宮）、小池正造（東新潟）、栗原清（武蔵豊岡）、田中かおる（安行）、片岡宝子（東中通）、町田さとみ（初雁）、大坪直史（熊谷）、嶋田恵悟（土浦）、武田真治（上尾合同）、飯塚拓也（竜ケ崎）、佐野明子（塩谷一粒）、小林眞（岩槻）、木村太郎（宇都宮）、村田元（群馬町）

【信徒】金剌英雄（上尾合同）、半田香代子（原市）、豊川昭夫（越谷）、星知恵（長岡）、佐久間文雄（志木）、國吉常喜與（宇都宮上町）、栗原初音（浦和別所）、山川秀人（聖学院）、冨田信也（大宮）、奥田幸平（埼玉新生）、黒田毅（武蔵豊岡）、冨永研司（日立）、桜井憲治（三芳）、川村雅保（岩槻）

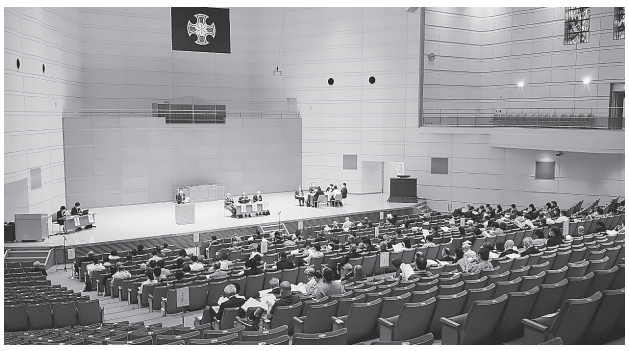
（小池正造報）

左から、飯塚宣教部委員長、田中副議長、熊江議長、小池書記

中部教区

「WEB会議」を宣教実施目標に取り入れ

第72回中部教区総会が5月24日、金城学院大学を会場に、正議員198名中166名、准議員63名中18名の出席を得て開催された。コロナ禍の中、今年は三密をできるだけ避けるため、1500名の収容が可能であるアニー・ランドルフ記念講堂を総会会場とした。


三密を避け、広い会場で

田口博之議長による開会礼拝説教の後、4名の隠退教師の感謝の祈祷がささげられた。

今回の総会は議案審議に集中する議事日程に取り組むことになり、日帰りが可能な午後1時から5時までの開催となった。質問と意見についても事前に教区宛てにメールをもらうこととした。

常置委員会報告において、田口議長は、総会が2年続きで議決権行使書による書面決裁の形を取ったことと、常置委員会で決議された内容を報告した。教団問安使の雲然俊美書記が挨拶し、教団機構改定に関する意見に応答した。また、この3年間、着任及び教区内で異動した教師の紹介が行われた。

議案はすべて原案通り可決された。中でも毎年教区総会で審議されている宣教実施目標案については、教区活動の具体的な方策としてWEB会議を実施目標に取り入れている。また、新型コロナウイルス感染症による教会財政の低下に対しての支援として、緊急謝儀援助・特別伝道費援助を昨年度と同じ方法で進める。また、昨年同様、日本基督教団の課題について理解を深める項目において、教団出版局の課題を覚えて祈る項目が宣教実施目標に入れられている。教会記録審査及び報告審査に関しては、総会後、委員が審査を行い、その報告については常置委員会に付託した。

教団総会議員選挙結果

【教職】田口博之（名古屋）、加藤幹夫（阿漕）、小林光（熱田）、横山良樹（半田）、井ノ川勝（金沢）、尹成奎（中川ぶどうの木）、吉澤永（愛知）、小堀康彦（富山鹿島町）、勇文人（富山二番町）、松島保真（小松）、佐藤誠司（福井神明）

【信徒】須田静代（名古屋中央）、朝倉秀之（金沢）、本弘禮子（津）、杉下玲子（福井神明）、辻康（四日市）、佐藤美和子（中京）、衞藤慧志（尾張一宮）、西井淳（富山二番町）、竹内喜保（半田）、大木博（尾陽）、井川英二（金沢元町）

（尹　成奎報）

京都 教区

機構改定に反対し、2議案を教団総会に提出

京都教区定期総会を5月20～21日に平安教会で開催した。開会時に議員144名中84名出席、二日目冒頭70名出席で総会成立。コロナ禍での時間短縮・会場設営の工夫を伴う3年ぶりの対面総会を行った。

一日目に三役・常置委員・教団総会議員選挙を行った。三役は全員再選、他の選挙結果は顔ぶれが約3分の1が前回から変わった。議長報告以下の報告議事では、教勢やコロナ禍に伴う教区財政などが問われた。そうした議事の休憩時には、議員相互が語らう姿があちこちに見られ、コロナ禍で久しくできなかった、大勢の人が集まる交流の活気が会場に感じられた。

議案19号「一般財団法人クラッパードイン設立に伴う定款に関する件」を可決した。これはアメリカ合同教会のWCM（ワイダー・チャーチ・ミニストリーズ）が京都市内に所有する元宣教師住居の土地建物を、社会的少数者など多様な人々の共生を目的として様々な社会活動を行う店舗「バザールカフェ」の運営に用いるために、WCM・京都教区・バザールカフェ運営委員会の三者で法人設立する内容である。

議案20号「第42回教団総会での教団機構改定に反対し教団総会議案2件を提出する件」を可決した。この審議では、教団の財政逼迫それ自体に対する当教区の姿勢を問う質問があり、教団財政・組織改革の必要自体は理解するが、沖縄教区抜きの現状の教団総会で機構改定しようとする教団の姿勢、また教団常議員会による原案内容を批判すると教区議長が答弁した。

二日目冒頭に准允（3名）・按手（1名）礼拝を執行した。その後、前日の選挙結果発表後、建議・請願を扱い、以下の要旨の建議3件を議案として可決した。①外国籍教団教師の滞在資格・人権課題への取組を教団世界宣教委員会に求める、②憲法改悪・紛争武力解決への反対声明、③滋賀県での6月全国植樹祭への反対声明。

概ね以上で総会を終了した。振り返ると、初出席の議員も含めて様々な方々の生き生きとした発言が続き、多様な応答を生んでいた。対面総会はやはり書面総会と違う、人間と人間の出会いの場、教区になくてはならない場である。

三役選挙結果

【議長】今井牧夫（京北）、【副議長】横田明典（近江金田）、【書記】内山友也（京都葵）

常置委員選挙結果

【教職】横田法子（草津）、入治彦（京都）、新井純（世光）、井上勇一（洛南）、小笠原純（平安）、浅野献一（室町）、平山正道（大津）

【信徒】大下真弓（京都葵）、東晃（城陽）、松田規（福知山）、谷口ひとみ（八幡ぶどうの木）、佐藤友子（京都葵）、谷村耕太（水口）、冨増献児（西小倉めぐみ）

教団総会議員選挙結果

【教職】今井牧夫（京北）、横田明典（近江金田）、平山正道（大津）、入治彦（京都）、井上勇一（洛南）、内山友也（京都葵）、小笠原純（平安）、川上信（八日市）、新井純（世光）、大山修司（膳所）

【信徒】大下真弓（京都葵）、谷口ひとみ（八幡ぶどうの木）、松田規（福知山）、東晃（城陽）、谷村耕太（水口）、三好照孝（京都）、志賀勉（紫野）、菅恒敏（京都）、原田潔（大津東）、冨増献児（西小倉めぐみ）

（今井牧夫報）

左から内山書記、今井議長、横田副議長

九州 教区

沖縄教区伝道所信徒を教区総会正議員とみとめることを要望

第72回九州教区総会は、5月4日、福岡中部教会にて通常二日間でなされる総会を1日に短縮した形で開催された。九州の各地から集い行う総会は3年ぶりとなった。開会時正議員128名（最大時155名）の参集をえて各議案が協議の上すべて可決された。

准允式が執り行われ、2名の受允者（岩田真紗美、阪口選）があり、総会議場で教師が立てられたのも3年ぶりであった。また、3年間に召天された方々をおぼえて逝去教師記念式が執り行われた。

九州の各地から集まり消息を覚えつつ、互いの声を聴き存在をおぼえ教区総会を守り、尊い時であった。

議案「教規第61条等の一部を改正する件」が可決された。沖縄キリスト教団と日本基督教団の合同によって、教会だったものが伝道所とされた経緯や、沖縄教区の教会の45％が伝道所であることをおぼえ、「合同のとらえなおし」の観点から沖縄教区の伝道所信徒を教区総会正議員とみとめるよう教規の改正を提案する。第42回教団総会にこの議案が提出される。あわせて、過去2回の教区総会期中に可決された議案「伝道資金規則改定に関する件」および議案「教憲9条を改正し、併せて関連教規条項を改正する件」が提出される。

教団総会議員選挙は、昨年度に行われた選挙結果を適用し、議員資格を失った者には次点者をあてることとし、承認された。

【信徒】小西眞二（福岡中部）、今村泰子（長崎銀屋町）に代わり、佐藤クニ子（三重）、古田栄（八代）

（竹内款一報）

准允式

東海 教区

「東海教区第二次五カ年計画」を可決

第109回東海教区定期総会は、5月24～25日、池の平ホテル（長野県北佐久郡）を会場に開催された。開会時の議員数は、正議員203名中114名、准議員5名。

議事に先立ち行われた開会礼拝では、宇田真議長による説教「主の御前に進み出よ」（詩編100編1～5節）が語られ、聖餐式が執行された。

議長報告において宇田議長は、多くの集会が延期または中止となった厳しい現実を述べた。半面、その現実にあって、いっそう神の御前に共に集うことのかけがえなさを示された恵みを神に感謝した。

また、神の御業によって召し集められた喜びと、その意味をさらに確かにするため、2021年度から「東海教区第二次五カ年計画」を実施したい意向を示した。

この計画は、2020年度まで実施された「東海教区五カ年計画」の各年度主題および2021年度主題「終わりに向かう教会」を踏まえた計画である。同時に、神の救いの御業に仕える「東海教区宣教基本方針」に基づいている。

この件は「東海教区第二次五カ年計画に関する件」として上程され、賛成多数をもって可決された。今後の教区の歩みが定められたことになる。

その他の重要議案として「准允式執行に関する件」が可決され、執行された。主の恵みによって新たに補教師1名が立てられ、御言葉の奉仕にあたる。

また、第42回教団総会議員選挙が行われた。これは教規に基づく当教区への教団総会議員の配分の人数が、教師、信徒ともに1名ずつ増え、教師11名、信徒11名となったことにより実施されたものである。

最後に、東海教区は長期にわたり教区事務所が定まらない状況にあったが、コロナ下の2020年8月総会で事務所建築関連議案が可決され、2022年2月28日に業務開始となった。厳しい状況にあっても、あらゆる面で整えられながら神の御業が進められている。

教団総会議員選挙結果

【教職】宇田真（岩村田）、宮本義弘（沼津）、柳谷知之（松本）、石井佑二（遠州）、新里正英（三島）、宍戸俊介（愛宕町）、兵藤辰也（中遠）、横井伸夫（長野）、佐々木美知夫（静岡）、上田彰（伊東）、西堀俊和（浜松）

【信徒】八嶋由里子（沼津）、土屋芳子（長野県町）、新庄田鶴子（静岡草深）、山室設子（沼津大岡）、茅野眞澄（山梨）、稲松義人（遠州栄光）、森里光生（遠州）、千國章二（松本）、遠藤彰彦（市川）、古屋秀樹（愛宕町）、鈴木美穂子（甲府）

（新里正英報）

開会礼拝

☆教会幼稚園・幼児施設融資金募集☆

幼稚園・幼児施設（認定こども園・保育園等）の土地拡張、増改築、新築のため、幼稚園・幼児施設融資金2022年度分を次の要領で募集します。なお、今回「融資実施要綱」を改定しました。

◎金額　50万円～300万円
◎返済期限　5年以内
◎利子　期限内　年 0.5％（1％より変更）
　　期限後　年 1.0％（2％より変更）

2022年度は総額600万円を貸し出します。教区事務所を通して教団教育委員までお申し込み下さい。締め切りは8月31日です。融資実施要綱、申請書は教育委員会まで（電話03-3202-0544）。＊教団HPからも。

▼社会委員会▼

アクトアライアンスについて

4月28日に、社会委員会の学びをオンラインで行った。CWS（チャーチワールドサービス）Japan事務局の牧由希子氏より、「人道支援におけるグローバル・エキュメニカルネットワークの中で連携する私たち」というテーマで、主にactalliance、ACTジャパンフォーラムの説明を受けた。

actallianceとは？

◎世界最大のプロテスタント諸教会・正教会・キリスト教系組織によって構成されるグローバルな連合体、世界教会協議会（WCC）・ルーテル世界連盟（LWF）によって、緊急事態における人道支援を行うACT（Action by Chruches Together）Internationalが1995年に設立され、2010年開発支援部門が統合され、現在のactallianceとなった。
◎設立目的：各国地域レベルにおける人道支援・開発支援・政策提言
◎世界140以上の教派・団体加盟、120か国以上で活動、年間20億ドル以上
◎政治・宗教・性差・性的指向・人種・国籍を超え、貧困問題・災害・紛争対立・農村開発・気候変動適応・人権問題に取り組む
◎日本では、NCC（日本キリスト教協議会）、CWS（チャーチワールドサービス）2団体が加盟
◎2019年2月ACT Japan Forum（ACTジャパン・フォーラム）発足

組織の構成・各国フォーラムへの権限移譲

◎ACT Asia-Pacific Regional Forum（actバンコク事務所内）
◎National Forum（17フォーラム）
◎年会費は各国フォーラムで活用

ACTジャパン・フォーラムのビジョン

緊急人道支援、被災地域への奉仕
防災・減災、災害への備えの普及啓発と災害支援体制構築

ACTジャパン・フォーラムの役割

(1)NCC加盟教団教派・団体との連携による災害支援
(2)災害対応のためのネットワーキング
(3)NCC加盟教団・団体および個教会に対する防災・減災、災害支援のための普及啓発、調査
(4)ACTアジア地域フォーラムを含む他国フォーラムとの情報共有・連絡調整
(5)国内外関係団体との連絡調整

ACTジャパン・フォーラムによる大規模災害に備えて今後の展望

◎平時からの宗教施設の活用：生活困窮者支援、外国人生活相談、防災・減災学習会
◎一時滞在施設認定に向けての啓発・説明会
◎行政（東京都、新宿区、社協）
◎他の支援組織へのつなぎ、連携促進
◎平時からの地域の交流の場としての宗教施設の活用
◎国内外における宗教的広域ネットワークの活用
◎超教派・超宗教的パートナーシップ：情報共有、外国人脆弱層へのアウトリーチ、リソースシェアリング
◎様々な専門性を持つ支援団体との連携
◎外国人ボランティア人材の活用
◎防災啓発活動:外国人向けの説明会や勉強会、宗教施設の活用

（大三島義孝報）

事務局報

西　富三郎（隠退教師）
22年3月25日逝去、97歳。埼玉県生まれ。53年関西聖書神学校卒業、57年より恵良（現、玖珠）、三重、天草平安教会を牧会し、93年隠退。
遺族は、妻・西薫子さん。

小原　正（隠退教師）
22年5月1日逝去、80歳。福島県生まれ。71年日本聖書神学校卒業。72年より小金、浜北、福生教会を牧会し、12年隠退。
遺族は、妻・小原光恵さん。

谷田禎造（無任所教師）
22年5月1日逝去、90歳。兵庫県生まれ。56年同志社大学大学院修了。同年より錦林教会を牧会し、頌栄短期大学、広島女学院に97年まで務める。
遺族は、妻・谷田悦子さん。

芦澤元造（隠退教師）
22年5月14日逝去、88歳。東京都生まれ。63年日本聖書神学校卒業。65年より大和キリスト、下川、名寄、苫小牧弥生教会を牧会し、01年隠退。
遺族は、妻・芦澤雅子さん。

藤田正樹（無任所教師）
22年5月24日逝去、79歳。宮城県生まれ。04年同志社大学大学院修了。同年より08年までマラナ・タ教会を牧会。
遺族は、妻・藤田榮子さん。

三和武夫（無任所教師）
22年5月25日逝去、78歳。長野県生まれ。00年日本聖書神学校卒業。同年より小郡、瀬戸内、徳之島教会を牧会。
遺族は、妻・三和博子さん。

補教師登録
菊地信行、金　允道、谷上れい子
（2022・4・25受允）
岩田真紗美、阪口　選
（2022・5・4受允）
大石茉莉、前川あきほ
（2022・5・8受允）
川上敏雄
（2022・5・9受允）
鳥井新平、平田康弘、大林叡貴
（2022・5・21受允）
菅根謙治
（2022・5・22受允）
田村敏紀、鵜﨑　寿、清野　量、甲賀正彦、関谷共美、吉村厚信
（2022・5・24受允）
内田隆彦
（2022・5・25受允）

正教師登録
金ヨセフ
（2021・12・12受按）
須賀　舞
（2022・5・21受按）
片岡正義、髙塚純平
（2022・5・24受按）

教師異動
米子錦町
辞（主）小野澤照夫
〃　就（兼主）廣田崇示
高知東　就（担）益　敏
東洋英和女学院小学部
辞（教）山本香織
行人坂辞（主）朝日研一朗
〃　就（代）上林順一郎
安中　辞（代）原　誠
〃　就（主）朝日研一朗
室戸　辞（主）西村　嗣
〃　就（代）岡本康夫
瀬戸キリスト
辞（主）竹村眞知子
〃　就（主）西村　嗣
〃　就（担）竹村眞知子
八王子栄光
就（代）本多峰子
西千葉　就（担）菊地信行
習志野　辞（代）山本信義
〃　就（主）金　允道
流山　就（主）谷上れい子
大溝　辞（代）竹内　宙
〃　就（代）東　昌吾
賀茂　辞（兼担）木谷佳楠
京都辞（兼担）西原ももこ
宮城学院辞（教）嶋田順好
三田　辞（代）大島　力
〃　就（主）嶋田順好
三重　就（代）日下部克彦
福岡中部
就（担）岩田真紗美
諫早　辞（代）竹内款一
〃　就（主）阪口　選
福島荒井
辞（主）保科けい子
立川　辞（主）飯島　信
〃　就（主）保科けい子
小高　辞（代）飯島　信
〃　就（主）飯島　信
浪江　辞（代）飯島　信
〃　就（兼主）飯島　信
左内坂　辞（主）花房康子
〃　辞（担）宮島星子
〃　就（主）宮島星子
国際基督教大学
辞（教）森本あんり
東京女子大学
就（教）森本あんり
〃　辞（教）矢田洋子
東京神学大学
就（神）矢田洋子
二宮　辞（代）金子信一
〃　辞（担）小林　充
〃　就（主）小林　充
愛川　辞（主）星野正興
和泉短期大学
辞（教）西田恵一郎
上大岡　辞（担）井谷　淳
百人町　就（担）井谷　淳
三島真光就（主）川上敏雄
下関西　辞（主）柳田雅江
〃　就（代）世良田静江
甲山　辞（主）梅崎須磨子
宇和島中町
就（主）梅崎須磨子
佐原　辞（主）但馬秀典
〃　就（主）三吉小祈
〃　就（担）但馬秀典
本郷中央辞（主）米田芳生
〃　就（代）岸　憲秀
船橋　辞（主）小林信人
〃　就（主）米田芳生
青森　辞（担）工藤浩栄
藤崎　辞（代）多勢　眞
〃　就（主）工藤浩栄
弘前西　辞（担）石川　康
内丸　辞（主）中原眞澄
〃　辞（担）生嶌陽子
〃　就（主）生嶌陽子
〃　就（担）中原眞澄
秋田飯島辞（代）飯田啓子
〃　就（代）村尾政治
花小金井
辞（主）加藤眞衣子
〃　就（代）山畑　謙
坂出大浜辞（主）今井靖清
〃　就（代）尾﨑公明
玉野　辞（主）山本博之
〃　就（主）今井靖清
如鷲　辞（主）亀井拓也
〃　就（主）山本博之
東調布　辞（代）山口紀子
〃　就（主）亀井拓也
新栄　辞（主）本間敏雄
〃辞（代）キスト岡崎さゆ里
〃　就（主）一之木幸男
北星学園余市高校
辞（教）塩見耕一
〃　就（教）髙濱梨紗
新島学園中学・高校
辞（教）吉居美緒
国分寺　辞（担）佐藤倫子
明治学院中学・東村山高校　就（教）佐藤倫子
〃　辞（教）今村栄児
明治学院高校
就（教）竹澤潤平
根津　就（主）大石茉莉
女子聖学院中学・高校
就（教）前川あきほ
同志社　辞（担）葉　以潔
新津　就（主）田村敏紀
群馬町　就（担）鵜﨑　寿
竜ケ崎　就（担）清野　量
大宮　就（担）甲賀正彦
霊南坂　就（担）菅根謙治
富士宮　就（主）内田隆彦
京都丸太町
就（担）平田康弘
京都　就（担）大林叡貴
近江平安就（主）鳥井新平
大井町　就（代）宍戸基男
南大阪　就（担）関谷共美
大阪生野就（担）吉村厚信
宍喰　辞（主）北村　誠
〃　就（代）野村義和
釧路　就（担）北村　誠
稚内　辞（代）伊藤大道
〃　就（兼主）伊藤大道
シンガポール日本語キリスト教会辞（外）松本章宏
ヴァレリオ・シルヴァ教会　辞（外）小井沼眞樹子

教師休職
金　修貞

教師隠退
石沢陽子、渡辺兵衛、加藤久孝、宮崎和夫、植西光雄、鈴木脩平、愛澤豊重、大宮　溥、森松民子、谷本一廣、古郡荘八、古郡千鶴子、山崎英穂、真砂良克、中村　眞、篠崎久美子、船水牧夫、芳賀正治、宇賀　充、東島勇気、大野顯二、最上光宏、會澤とき江、石丸泰樹、小野澤照夫、竹内　宙、花房康子、星野正興、柳田雅江、石川　康

隠退より復帰
内山　宏

伝道所廃止
椎田

教会所在地変更
葦のかご　〒110－0014　東京都台東区北上野1－12－4　シティアドバンス805

教会通信先削除
葦のかご

伝道所通信先変更
袖ヶ浦ともしび　〒168－0071　東京都杉並区高井戸西3－15－1－101　今関公雄気付

教師改姓
田名　希→東　希
上田充香子→竹井充香子
丹羽真理恵→戸根真理恵
北村　誠→上原　誠

信徒伝道者異動
阿佐ヶ谷　就　李　暁静

伝道報告

伝道のともしび

TOMOSHIBI

七十二人は喜んで帰って来て、こう言った。…イエスは言われた。「あなたがたの名が天に書き記されていることを喜びなさい。」
ルカによる福音書第10章17節～20節

祈りによって整えられた器

学校法人羔学園羔幼稚園 副園長　岸　惠

羔幼稚園は、1929年日本メソヂスト千葉教会（現日本基督教団千葉本町教会）の宣教の一貫として教会の創立と同時に設置されました。創設当時は教会敷地内にあり、1950年代に区画整理に伴い、教会裏の道路を挟んだ現在地に幼稚園のみ移転しました。その後、学校法人化を経て、現在に至っています。

学校法人化された今日でも、建学の精神としてのキリスト教を明確に位置付けています。創設以来、園長職は千葉本町教会の牧師が務め、今日、7代目となっています。また、学校法人の理事・評議員の多くは教会員がなし、その働きの中心を担っています。

2011年の東日本大震災での被災により補修を重ねつつも劣化していく園舎に、急遽、園舎新築を行うこととなり2020年に竣工となりました。本来は2029年の百周年に向けた事業となるはずでした。

幼稚園は、子どもが遊ぶ場ですから、器が整えられたことで大きな安心を得られました。自己資金の乏しい中、千葉本町教会の祈りと多くの教会の方々、幼稚園を愛してくださる方のお支えがあったからこそ完成の時を迎えられたものです。正に主のわざが成就していくことの不思議さを憶えます。

園児は木々や色とりどりの花に囲まれた広い園庭を思う存分駆け回り、土、砂、泥、水の感触を大いに味わっています。新園舎のホールと保育室の間に水盤ができ、その水の流れが奇しくも園庭に小さな沼が出現することになりました。子どもたちはそこで、お団子やチョコレートを作ってみたり、洋服を脱ぎ、裸足になり水の中に入っていき、アメンボ採りやビールケースをいくつも並べて渡れるようにしたり、舟を浮かべたりと遊びが広がっています。バケツに泥水を入れてみたり、身体中、泥だらけになって水面をたたいて跳ね上がるしぶきに泥の水玉だらけの顔がキラキラと光っています。泥の中に浸かってまるでワニのように横たわっている子もいます。「先生」と呼ばれて近づくとワニが飛び出してきます。子どもたちが沼に向けて段差をつけて水を流して「ダム工事」へと発展したりと、日々変化を遂げていく様は実に面白いです。実にのびやかに遊びを繰り広げていくことに感心し、どの子も愛されて受け入れられてこそ安心して自分が出せる場としての幼稚園であり続けたいと願っています。

自由に遊ぶなかで年齢を超えて混ざり合い出会っています。小さな子を助ける年長の子たちです。自分もまた小さかった時に助けてもらった子たちです。いっしょに遊ぶことで思いやったり、やってみたい思いが育まれます。

何よりも大事にしていることは毎日のクラスでの礼拝。年少組の小さな子がだんだんと自分の言葉で祈るようになっていきます。水曜日はホールで合同礼拝。讃美歌を覚え、主の祈りをみんなでささげます。小さなときに創造主を知って欲しいと願っています。

教会と共に車の両輪のように歩みが重ねられた恵みを感謝しつつ、幼稚園を通して伝道のわざがなされていくように、心から願い、主の導きを祈ります。

「沼で遊ぶと楽しいよ」
羔幼稚園新園舎

フィリピン合同教会総会報告

讃美と信仰の喜びに溢れる総会

5月23～25日に、マニラのCentury Park Hotelで開催されたフィリピン合同教会（United Church of Christ in the Philippines 以下、UCCPと表記）総会に、西之園路子世界宣教委員長と高田輝樹職員が出席した。

UCCPは教団と同じくプロテスタント諸教派が合同してできた教会で、総会は4年に一度開催されている。本総会には代表議員356名、海外ゲスト数名、スタッフを含め、計400名ほどが参加。

フィリピンは人口のうち、80％がカトリック、13％がプロテスタント、両方合わせれば93％の人々がクリスチャンというキリスト教国。UCCPの方々も信仰に篤く讃美の喜びに溢れ、聖書の御言葉に従うからこそ、貧困や病気、その他の助けを必要とする人々に手を差し伸べる様々な活動を行っている。

総会初日は夕食と2時間の開会礼拝。二日目朝は2時間の礼拝から始まり、夕食で終了。最終日は2時間の予定だった創立74周年記念礼拝が3時間となり、その後の議事でも活発な議論が交わされた結果、終了時間も当初の予定を大幅に超え、任命式も伴う約2時間半の閉会礼拝が終わったときには、夜の11時10分を過ぎていた。二泊三日の総会の中で、礼拝時間が9時間半近く占めるところに、信仰者としての彼らの姿を見、感銘を覚える。総会運営も含め、教団が学ぶべきことはたくさんある。

総会二日目の午後は、議事とは別に、パートナー教会とのエキュメニカルな対話の席が設けられたので、私たちはそちらに招かれた。現在、UCCPから日本に派遣されているパーシバル・スマニル宣教師も同席された。UCCPからは、今後更に日本基督教団との協力関係を強めていきたいとの熱い願いが示された。

本総会は熱く議論が交わされる場面もあったが、全体として終始和やかで明るく、仲の良さを感じさせ、讃美と信仰の喜びに溢れるものであった。今後も教団と良き交わりを深めて行けたらと心から願う。

（西之園路子報）

ひとときの人

杉山真里菜さん

知る力と見抜く力とを身に着けて

静岡一番町教会員

キリスト者の母と共に、幼い頃から静岡一番町教会に通っていた杉山真里菜さんは、中学・高校と静岡英和女学院で過ごし、高校2年生の頃に受洗した。教会員でもあった家庭科の先生の勧めで、高校時代には積極的に国外に出かけた。

カンボジアのスタディーツアーでは、幼い子どもたちが物乞いをしている姿に衝撃を受けた。タイのカレン族の村にホームステイをした際には、自然と共生する生活の豊かさを経験。近代化された先進国の生活が必ずしも幸せではないと感じた。これらの経験から「誰かのために役に立ちたい」という思いと共に、「何かをしてあげようというのも違うのではないか」との思いを抱いたという。

秋田の大学に進学し、農作業をしつつ生活をする中で、水の循環の中で生かされている恵みを体感、関心を環境へと向けて行った。在学中に1年間ノルウェーに留学、卒業して2年程、教団事務局（世界宣教）で働いた後、ノルウェーの大学院に進学した。

2018年に帰国、ウォーターエイドジャパンに就職した。「すべての人々がすべての場所で、清潔な水とトイレを利用し、衛生習慣を実践できる世界」を目指し、1981年にイギリスで設立されたNGOの働きを日本で展開する。現在、世界で7億7千百万人（10人に一人）が衛生的な水を得ることが出来ない環境で生きている。この現実を知ってもらい、支援を募るために、ウェブサイトや刊行物作成等の広報を担う。

何が正しく、何が正しくないかが見えにくい世にあって、「知る力と見抜く力とを身に着けて」、「本当に重要なことを見分けられるように」（フィリピ1・9）なることを祈りつつ、神の愛を実践できるような人になりたいと杉山さんは語る。

聖公会の新しい歩み

4月23日、札幌で行われた日本聖公会北海道教区の新主教按手・就任式に出席した。

英国国教会の流れをくむ日本聖公会では長く女性の聖職就任は制限されていた。1998年、初めて女性の司祭が任じられ、ついに昨年、北海道教区が新主教に笹森田鶴司祭を選出して、東アジアの聖公会で初めての女性主教按手に至った。コロナ禍で出席者が制限される中、笹森新主教とは神学校の同期のよしみで招かれて歴史的瞬間に立ち会わせていただいた。

新主教は挨拶で「女性の主教按手は日本聖公会が多様な人々の信仰共同体であることを示す。いっぽう、そのことに違和感を覚えたり神学的に違う立場の方々もいる。それでよい。今は長いプロセスの途上にある。今、日本聖公会の多様性の中での一致への模索の機会があらためて与えられた。分裂ではなく対話による一致への招きに応えなければならない」と述べた。

『日本聖公会における女性の司祭按手に関するガイドライン』には「すべての聖職と信徒は、女性の司祭按手についての立場の違いを越えて、協働者として対話をしつつ、協力しあう」、「女性の司祭按手についての立場の違いを理由に、聖奠執行や交わりから排除されることがあってはならない」とある。

立場の違いを超えて信仰共同体を形成していく決意のことばに、敬意と共感を深くした。

（教団総会副議長 久世そらち）